

2. 「新重点4分野」

○ 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002 (平成14年6月25日閣議決定)(抜 粋)

第5部 3. 平成15年度財政運営のあり方

(3) 重点的に推進すべき分野・効率化の考え方

経済の活性化を念頭に置きつつ、これまで以上に無駄を大胆に排除し、効率的な財政を実現しなければならない。

平成14年度における「5兆円削減し、2兆円を重点7分野に再配分する」との精神を受け継ぎ、「経済活性化戦略」を重視しつつ、その考え方に沿って、新たに以下の「活力ある社会・経済の実現に向けた新重点4分野」へ施策を集中する。その際、政策効果が最大限発現するよう重点分野の中においても施策の絞込み(重点化・効率化)を行う。

① 人間力の向上・発揮 ― 教育・文化、科学技術、IT

【重点化・効率化の考え方】

(教育・文化)

- ・ 大学教育に対する公的支援については、競争原理を導入し、世界最高水準の大学を育成
- ・ 意欲・能力がある個人を支援
- ・ IT・ライフサイエンス等新分野の人材育成を重視
- ・ 学校や教員の個性と競争を通じて、児童・生徒の基礎学力の維持・向上、心の豊かさや創造性の涵養を図る
- ・ 文化芸術振興については、心豊かな活力ある社会の形成及び地域社会の活性化を念頭に置いた振興、事業に着眼した支援に重点化

(科学技術)

- ・ 重点4分野(ライフサイエンス、情報通信(IT)、環境、ナノテクノロジー・材料)への更なる集中と戦略的重点化
- ・ 経済活性化の観点からの新規プロジェクトの厳選と既存プロジェクトの見直し
- ・ 質の高い基礎研究への重点化と研究の評価システムの構築
- ・ 民間主導による産学官連携に重点

(IT)

- ・ 「e-Japan重点計画-2002」を踏まえ、電子政府・電子自治体等公的部門の電子化、基盤的技術開発等に重点化
- ・ 基盤的技術開発については、成果の検証等による既存プロジェクトの見直し
- ・ 既存の施策を含めた施策間の重複排除と緊密な連携の確保

② 魅力ある都市・個性と工夫に満ちた地域社会

【重点化・効率化の考え方】

(魅力ある都市)

- ・ 都市再生プロジェクトとして都市再生本部が決定した事業
- ・ 自然との共生を含む都市の魅力及び国際競争力の向上に高い効果が期待されるもの

(個性と工夫に満ちた地域社会)

- ・ 「地方の自立」を促す観点から、効果的な市町村合併支援のほか、国・地方の関係にふさわしい考え方により、地域の経済活性化などについての地域の主体的な取組みを支援するもの
- ・ NPOとの連携施策や国際観光振興など特徴的なまちづくり・安全な地域づくり

③ 公平で安心な高齢化社会・少子化対策

【重点化・効率化の考え方】

- ・ 保育所待機児童ゼロ作戦の推進などに加え、地域・職場など社会全体で子育てを支援
- ・ 介護サービス供給体制の整備等
- ・ 輸入食品の安全対策の充実やトレーサビリティシステム（生産流通履歴情報把握システム）の整備等消費者に信頼される食の安全安心体制の構築
- ・ 公共施設、公共交通のバリアフリー化

④ 循環型社会の構築・地球環境問題への対応

【重点化・効率化の考え方】

- ・ 廃棄物処理、リサイクル等いわゆる3Rの着実な実施、バイオマスの利活用
- ・ 地球温暖化についての研究開発、我が国の温室効果ガスの削減・吸収、多様で健全な森林の育成など自然生態系の保全・再生に直接つながる事業